

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社ウェルファームフーズ			住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 102-0074 東京都千代田区九段南一丁目6番5号		
本票作成	部署名：リスクマネジメント部						
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業				
事業の概要	ブロイラーの肥育、処理、加工 岡山事業所の従業員数：277名（2025年3月）						
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地		
	①	岡山事業所 岡山工場			新見市西方1567		
	②	岡山事業所 足立第2農場			新見市足立田曾2187		
	③	岡山事業所 吉家E農場			高梁市備中町西山2415		
	④	岡山事業所 足見A農場			新見市土橋37		
	⑤	岡山事業所 吉家B農場			高梁市備中町西山2540-2		
	⑥	岡山事業所 足立第3農場			新見市足立字小木戸2368		
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 27 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)						

計画期間	令和 7 年度 ～ 令和 11 年度 ( 5 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○		
温室効果ガス排出量	基準年度（令和 6 年度）			目標年度（令和 11 年度）						
	16,050 t CO <sub>2</sub>			15,666 t CO <sub>2</sub>						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度（令和 6 年度）の排出量					
	①	岡山事業所 岡山工場			7,082 t CO <sub>2</sub>					
	②	岡山事業所 足立第2農場			583 t CO <sub>2</sub>					
	③	岡山事業所 吉家E農場			545 t CO <sub>2</sub>					
	④	岡山事業所 足見A農場			527 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	岡山事業所 吉家B農場			484 t CO <sub>2</sub>					
	⑥	岡山事業所 足立第3農場			480 t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 岡山工場の原料使用量 (t) (ブロイラー工場の処理重量 +レンダリング工場の原料使用量)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.3171 t CO <sub>2</sub> / ( t )	0.3012 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値（令和 6 年度）	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

<ul style="list-style-type: none"><li>生産量増強を計画しているため、総排出量の削減は困難であり、原単位での削減計画とした。</li><li>原単位の分母は、岡山工場の原料使用量（ブロイラー工場の生鳥処理重量にレンダリング工場の原料使用量を加算したもの）。</li></ul> 省エネ法で国に報告しているもので、生鳥の肥育にも関連していることから選定した。
--

【目標削減率達成のための推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山工場を運営する製造部にエネルギー管理士、農場を経営する農場部にエネルギー管理員の有資格者を配して、省エネルギーに取り組んでいる。</li> </ul>
--

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山事業所 製造部 (岡山工場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>休憩時間の設備停止</li> <li>照明器具を順次蛍光灯からLEDへ変更。</li> <li>空調機運転の効率化</li> </ul>
岡山事業所 農場部	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶏舎で使用する換気扇について、消費電力が従来型の1/3程度のタイプ（スマートファン）を導入。</li> <li>老朽化した屋根等の改修により、鶏舎の断熱を強化し、結露防止と冬場の保温を実現。</li> <li>鶏糞を燃料としたバイオマスボイラーで床暖房を行う、断熱性能の高い鶏舎を建設。</li> </ul>

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山事業所 製造部 (岡山工場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存照明のLED化を順次進めていく。</li> <li>機械設備の老朽化に伴う入替や、新規導入の際には、省エネ性能の向上も選定基準のひとつとする。</li> </ul>
岡山事業所 農場部	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した鶏舎設備(屋根・壁・カーテン)の改修及び断熱強化を順次行う。</li> <li>建設する鶏舎は、断熱能力の高いものとし、鶏糞原料のバイオマスボイラーで床暖房を実施する予定。</li> <li>2018年度以降、鶏舎1棟に温湿度センサー、CO2センサー、Webカメラを設置し、データを蓄積中。エネルギー管理含め、最適な管理への検討を継続していく。</li> </ul>

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--